

実用英語特論

高度専門職業人として必須の英語運用能力を身につけます。

英語は学術や研究における事実上の標準語です。機械翻訳技術が今後ますます発展すればするほど、矛盾するかのように、医療者にとって英語運用能力がさらに重要になります（The Economist 未来予測2050年）。高度専門職業人の標準語である英語の運用能力向上のための研鑽を積み重ねましょう。

研究紹介

- フローレンス・ナイチンゲールが書き遺した一次資料（英語）を読み解き、彼女の思想や信条を探っています。彼女に関して他者が書いた批評や伝記などの2次資料からでは読み取ることができない“実像のナイチンゲール”を知ろうとする試みです。
- 看護実務や看護学文献にみられる英語語彙をデータ（コーパス）から抽出したものを主軸に、医療者にふさわしい英語を整理整頓しております。
- 日本の英語教育の歴史を踏まえて、日本語母語話者にとって、英語運用能力を向上させるのに最適な目標と方法を探求しております。
- 「ことばへの気づき（language awareness）」を尊重する複言語主義の立ち位置から、人間にとって言語とは何かを追求しております。

所属学会等

- ナイチンゲール看護研究所 客員研究員
- 日本医学英語教育学会 会員
- 日本英語教育史学会 会員
- Association for Language Awareness 会員